

第2回 失神研究会

日時 平成23年7月2日(土)

場所 昭和大学 臨床講堂
東京都品川区旗ノ台1-5-8
TEL 03-3784-8000

主催 失神研究会

第2回会長 安部 治彦
産業医科大学医学部 不整脈先端治療学講座

第 2 回失神研究会のご挨拶

「失神」は何十年も前から循環器病の一症状として知られていたにも係わらず長年臨床医学ではあまり注目されてきませんでした。1986 年と 1989 年に head-up tilt 検査による神経反射性失神の誘発法が報告されて以降注目され、次いで心臓突然死や Brugada 症候群での症状として認められること、またそれらに対する ICD 治療の有効性が証明されるにつれ、心原性失神が広く認識されてきたように思います。最初の失神の診療ガイドラインは ESC から 2001 年に報告されました。遅れること 7 年、国内でも日本循環器学会が 2007 年にガイドラインを公表しました。一方国内でも植込み型ループレコーダーが使用可能となり、失神の原因疾患の鑑別に極めて大きな武器が得られました。日常臨床で医療機関を受診する失神患者が多いことに加え、これらの診断法の進歩も相俟って徐々に失神に対する臨床医の興味も高まりつつあります。しかし、失神の診療では失神なのかてんかんなのか、それともそれ以外のものなのか鑑別に苦慮することが多いのが実情です。失神であってもその原因が何であるのか鑑別診断が非常に困難な症例が多いのが実態です。現在、日本循環器学会のガイドラインも改訂作業中ですが、植込み型ループレコーダーも含め失神の鑑別診断については新しい改訂版で詳しく述べられることと思います。

本研究会は、今回が第 2 回目となりますが、全国から応募された 19 演題を一読して、極めてレベルの高い演題が多いことに驚かされます。演題数が予想より多く、1 演題 10 分しか時間が取れなかったことが非常に残念です。また特別講演として九州大学の砂川先生には失神の病態生理に関して、慶応大学の堀先生に救急医学での失神について講演をお願いしました。どちらも我々臨床医にとって役立つ内容で非常に楽しみです。全国から参加者に十分満足していただけるものと確信いたしております。

第 1 回研究会同様、今回も活発な議論をお願いする次第です。

第 2 回失神研究会
会長 安部 治彦

第2回 プログラム

12:55-13:00 開会挨拶

13:00-13:50 **特別講演 1** (共催：第一三共株式会社)

「ヒト循環動態と失神の病態生理」

座長：小林洋一 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

演者：砂川賢二 九州大学医学部循環器内科学

13:50-14:30 **一般演題 1 (1-4)**・検査／病態生理／中枢性機序

座長：高瀬凡平 防衛医科大学校集中治療部

赤松直樹 産業医科大学神経内科学

14:30-14:45

Break

14:45-15:15 **一般演題 2 (5-7)**・検査法／植込み型ループレコーダー

座長：阿部芳久 秋田県成人病医療センター

河野律子 産業医科大学 循環器内科

15:15-15:55 **一般演題 3 (8-11)**・神経反射性失神 (診断・治療)

座長：住吉正孝 順天堂大学練馬病院 循環器科

野呂真人 東邦大学医療センター大橋病院

15:55-16:45 **特別講演 2** (共催：田辺三菱株式会社)

「失神と救急医学」

座長：安部治彦 産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座

演者：堀 進悟 慶応義塾大学医学部救急医学講座

16:45-17:00

Break

- 17:00-17:40 一般演題 4 (12-15)・心原性失神 (1)
座長：水牧功一 富山大学大学院医学薬学研究部 内科学第二
丹野 郁 昭和大学医学部内科学講座 循環器内科
- 17:40-18:20 一般演題 5 (16-19)・心原性失神 (2)
座長：西崎光弘 横浜南共済病院 循環器内科
清水昭彦 山口大学大学院医学系研究科保健学系
- 18:20-18:30 閉会挨拶
- 18:30-20:30 懇親会 昭和大学タワーレストラン昭和 (入院棟 17 階)

特別講演 1

13:00-13:50

ヒト循環動態と失神の病態生理

座長 小林洋一 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

演者 砂川賢二 九州大学大学院医学研究院 循環器内科

共催 第一三共株式会社

MEMO

一般演題 1 : 検査／病態生理／中枢性機序

13:50-14:30

座長 高瀬凡平 (防衛医科大学校 集中治療部)

赤松直樹 (産業医科大学 神経内科)

1. 失神患者に対する頭部 CT 検査施行判断
鈴木 昌 慶応義塾大学医学部 救急医学
2. 遺伝性不整脈疾患がてんかんとイオンチャネル病として合併する可能性について
大道近也 東京厚生年金病院 循環器内科
3. Tilt-Table Test における陽性反応と臨床的トリガー:ニトログリセリン負荷とクロミプラミン負荷での検討
古川俊行 秀和総合病院 循環器内科
4. ILR により側頭葉てんかんが診断された失神患者の 1 例
河野律子 産業医科大学 循環器内科

一般演題 2 : 検査法/植込み型ループレコーダー 14:45-15:15

座長 阿部芳久 (秋田県成人病医療センター)
河野律子 (産業医科大学 循環器内科)

5. 失神と植込み型ループレコーダー

祖父江嘉洋 藤田保健衛生大学医学部 循環器内科

6. 植込み型心電計移植患者における Quality of life の検討

古川俊行 秀和総合病院 循環器内科

7. 神経調節性失神患者における Head up Tilt 試験による薬効評価と治療効果
について

石川 妙 東京都立広尾病院 循環器科

一般演題 3 : 神経反射性失神 (診断・治療)

15:15-15:55

座長 住吉正孝 (順天堂大学練馬病院 循環器科)

野呂真人 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

8. 下咽頭癌術後に頸動脈洞症候群が発症し、DDD ペースメーカーが有効であった頸動脈洞症候群の一例

大久保公恵 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科

9. 左室肥大を伴わない S 状中隔による失神発作を認めた 2 症例

山口由明 富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二

10. 胸部大動脈瘤に対して人工血管置換術を施工し、繰り返す失神が改善した 1 症例

妹尾恵太郎 心臓血管研究所 循環器内科

11. 頸部リンパ節腫大による頸動脈洞の圧排で失神を繰り返したが、頸部節廓清術後に失神が完全に消失した一例

前田敦雄 昭和大学藤が丘病院 循環器内科

特別講演 2

15:55-16:45

失神と救急医学

座長 安部治彦 産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座

演者 堀 進悟 慶応義塾大学医学部救急医学講座

共催 田辺三菱株式会社

MEMO

一般演題 4 : 心原性失神(1)

17:00-17:40

座長 水牧功一 (富山大学大学院医学薬学研究部 内科学第二)
丹野 郁 (昭和大学医学部内科学講座 循環器内科)

12. 冠攣縮に伴う房室ブロックにより失神発作を繰り返した一例

園田桂子 新潟大学医歯学総合研究科 循環器分野

13. 洞停止に対するペースメーカー植え込み後に失神をきたした 1 例

阿部芳久 秋田県成人病医療センター

14. PSVT を合併する失神発作の 3 症例

浅野充寿 さいたま赤十字病院 循環器内科

15. 心血管性疾患とは異なる機序が原因として考えられた失神の 3 症例

上山 剛 山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学

一般演題 5 : 心原性失神(2)

17:40-18:20

座長 西崎光弘 (横浜南共済病院 循環器内科)
清水昭彦 (山口大学大学院医学系研究科保健学系学域)

16. 痙攣を伴う失神から ICD 植え込みまで 8 年を要した Brugada 症候群の一例
杉山浩二 東京医科歯科大学 不整脈センター
17. 神経調節性失神を合併し J wave を伴う自然発生 Type 1 心電図を示した Brugada 症候群の一例
加藤信孝 横浜南共済病院 循環器内科
18. 心室細動による失神で、はじめて薬剤性 QT 延長が判明した 2 症例
久次米真吾 東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科
19. 失神が初発症状でステロイドパルス療法が著効した慢性活動性心筋炎に伴う持続性心室頻拍の一例
川崎志郎 昭和大学内科学講座 循環器内科